

◆スイッチを使って自分で音楽を聴こう

1 対象児童生徒（対象学級）の実態 ・高等部 重複障害（知的障害、肢体不自由）
2 指導目標 ・スイッチに興味をもち、スイッチを入れることでアクションが起きることが分かる。 ・動画や音楽、音声などに興味をもち視聴できる。
3 取組の中心となる教科・領域等 ・自立活動
4 使用したアプリ、周辺機器 ・写真、動画、ミュージック、ガレージバンド
5 指導の経過及び児童生徒の変容 ○評価の視点 ① スイッチを入れることで音や映像が出ることを知ることができたか。 ② 好きなビデオや音楽に興味をもち鑑賞できたか。 ① の視点から スイッチ学習については、1 年から取り組んでいるが、スイッチによって音や映像が出ることに気づくことが難しく、スイッチ自体の形状および種類をいくらか考えてきた。ビッグマックスイッチの大小や、フレキシブルスイッチ、マイクロスイッチなどを iPad と工夫しながら提示することで、意欲的に手を差し伸べて取り組む様子が見られている。 ② の視点から 友達の映像や声にはとても興味を示し、iPad に向かい笑顔で鑑賞している姿が多く見られた。寝返りをし意欲的に集中して視聴している様子は、以前デスクトップパソコンやモニターの場合も同様に見られたが、iPad だと視線が見下ろす姿勢になる点や、画面がより近くにあり見やすい点などの利点があるように思われた。
6 指導のポイント（変容の要因、効果的な支援方法等） ・ビッグマックスイッチを押すことは難しいが、フレキシブルスイッチの先にスポンジをつけ、それを取り外すことでスイッチを入れるように促した。 ・本人がなるべく関心をもっているビデオ（小学部3年時の活動、宿泊訓練など）を活用し、意欲喚起をした。 ・スイッチの学習は自立活動の選択肢として取り入れ、やってみたいものを選び取り組むこととした。